

# 緑とせせらぎと公園エリア

～歩いてみよう！自然豊かな森とその周辺～



## まちの魅カインデックス

### ① 仏向で出会う歴史と水

～蔵王高根神社・薬師堂～

～いつかの横浜を思い浮かべて 水の里・仏向地区を歩く～

### ② 自然豊かな「森」と「川」

～程ヶ谷里山、いやしの森づくり～

～仏向の丘と川～

### ③ ホタル舞う「仏向の谷戸」(仏向町小川アメニティ周辺)

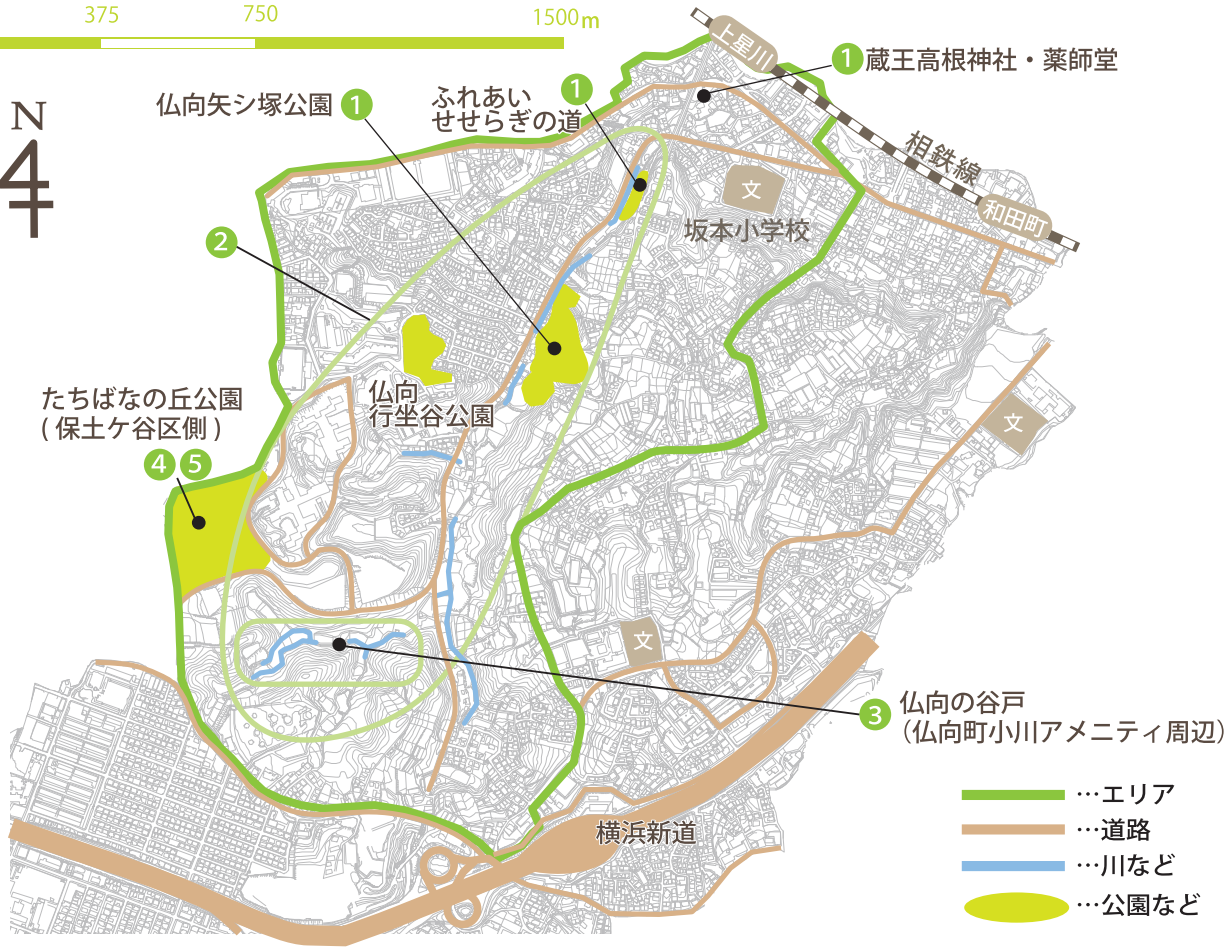
### ④ たちばなの丘公園を歩く

### ⑤ たちばなの丘公園の歴史と由来



0 375 750 1500m

N  
47



# 緑とせせらぎと公園エリア

歩いてみよう！自然豊かな森とその周辺

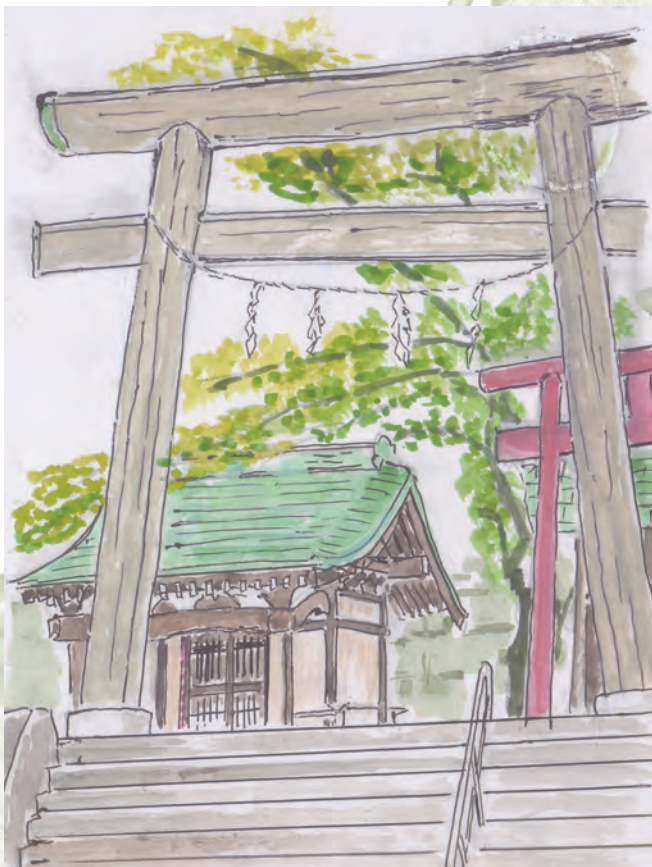
# ① 仏向で出会う歴史と水

～ざ おう たか ね蔵王高根神社・薬師堂～

**昔** 坂本町から水道坂の登りにかかる左側の角地に鎮守の森がありました。蔵王神社と高根神社の2社があり、すぐ隣に薬師堂もありました。明治43年に、明治政府は一村一社の方針から、この2社は矢崎村の杉山社に合祀されました。

しかし、村人はその後も社殿を残して遥拜ようはいし、戦後の昭和24年に再び分祀して独立したといえます。

**目** の前を通る相州道の際には、多くの石仏・石塔が見られます。庚申塔、地神塔を始め、馬頭観音、珍しい指差し道標の形もおもしろいです。



ほどがや語りべ集

緑とせせらぎと公園エリア

## 住宅街の中心休まる水辺

相鉄線「上星川」駅から歩くこと7、8分。丘のふもと、緑の中を小川が流れています。「ふれあいせせらぎの道」です。水は、すぐそばの鉄道のトンネルからこんこんと湧くもの。この丘から湧く水は、きっと昔から人びとの暮らしを潤していたのでしょう。今もせせらぎの音を聞きながら小道を歩けば、日頃の忙しさを流してくれるような気がします。



## 一本の矢が、800年の時を刻む

そこからゆるい坂道を進んだ先にあるのが、「仏向矢シ塚公園」。丘に広がる大きな公園です。ちょっと変わった名前は、あの源頼朝がここで放った矢にちなんだものだから。ゆっくりと時間をかけて、天を突くように伸びた木々を眺めながら思います。「やっぱり、横浜の歴史は深い！」と。



竹を抜いたら清水がわきだし、人々の暮らしをうるわしたという伝説も。

## 2 自然豊かな「森」と「川」 ～程ヶ谷里山、いやしの森づくり～



ほどがや語りべ集

**た** ちばなの丘公園の周辺に、現在も多数の雑木林が点在しています。これらの雑木林を地元では「カーリットの森」と呼んできました。この森には、下草のアズマネザサが生い茂ります。

**ま** の一角に、市民団体が下草を刈り、立ち枯れた木を伐採して整備された「程ヶ谷里山」と呼ばれている丘が、ゴルフ場の裏にあります。整備により、林床に眠っていたシュンラン、ウラシマソウなど野草も多数復活しました。その結果、野鳥や昆虫などの生きものが息づく明るい雑木林になっています。また、水源を確保することで、ゲンジボタルの環境を守ることもつながっています。

**現** 在、この里山では、市民団体が里山再生の活動を行っています。そこでは、森の体験活動や観察会などのイベントを行い、地元の人に利用してもらう機会もついています。

**ま** こでは、都会で自然に親しむことができます。皆さんも、散歩のついでに立ち寄って、自然に触れて癒やされてみませんか？



語りべ：中村 雅雄さん

緑とせせらぎと公園エリア

## 2 自然豊かな「森」と「川」 ～仏向の丘と川～

### 道路と平行して流れる仏向川

両側に仏向矢矧公園、仏向行坐谷公園、たちばなの丘公園、せせらぎの森、仏向町小川アメニティと谷戸の地形が連なり（仏向の丘）、そこからの流れが集まって水量豊かな仏向川になっている。川は坂本町のせせらぎの道から公園の下を流れ、帷子川に注ぐ。



途中、西谷浄水場から、水道水をつくるために取水した後の余剰水も流入してますます豊量に。



土をふき上げている湧水地点や土手の地層からしみ出す様子が見られる。



防空壕跡からしぼり出る水

### ③ ホタル舞う「仏向の谷戸」 (仏向町小川アメニティ周辺)

# 谷戸

とは

両側、つきあたりを  
丘に囲まれた低地

昭和30年代まで横浜のどこにでもありました。

人々は谷戸の水を利用して稲を植え、雑木を伐採して燃料とし、落ち葉はかき集めて畑の肥料に、ススキを刈って屋根を葺(ふ)き、すべてが土にかえるといった自然の中で暮らしていました。

今では少なくなってしまった自然。

横浜市の緑の10大拠点の一つ「仏向の丘」と位置づけられている谷戸を紹介します。

谷戸は、人にやさしく、いろいろな動植物を  
育んでいます

- ・ 丘と谷の高低差が10~20mもあり気温が3℃ほど低く、夏は涼しい。また、雪が降ると街の雪がすっかり解けてしまっても、しばらくは谷戸の雪景色が続きます。
- ・ ホタルが舞うところは星がきれい。  
ホタルの語源は「星が垂れる、火(ほ)が垂れる」からきていると言われていたほどです。



ホタル観察



谷戸の雪

ほどがや語りべ集

緑とせせらぎと公園エリア

### 3 ホタル舞う「仏向の谷戸」 (仏向町小川アメニティ周辺)



きれいな水が小川となって流れる、  
緑あふれる谷戸。

毎年ここで生まれ、成長し、いのちを  
つなげる私たち。

この谷戸のおかげで美しい光を<sup>とも</sup>灯し  
続けられます。

私たちは、土から出てから水しか飲まず(何も  
食わず)、たった8日間ほどしか生きられません。

その間に光って、一生懸命相手をさがし卵を  
産みます。

#### ホタル観賞の心得

いつまでも、すばらしいホタルの舞いを見ることができ  
るようにライトは消して、そっと見守りましょう。

#### 仏向の谷戸のホタルに関して、よくある質問

Q. 何種類のホタルがいるの？

A. 現在はゲンジボタルのみです。

Q. いつどのくらい飛んでいるの？

A. 6月上旬～7月上旬。最多日は80～120頭  
います。

Q. ホタルの天敵は？

A. クモ、キリギリス、ムカデ、ヤゴなどです。



# 4 たちばなの丘公園を歩く



土塁群と全景



竹林



ほどがや語りべ集



土塁の入口

緑とせせらぎと公園エリア



いちよう並木と草地広場



湿性植物の谷



見晴らし台から

白地図：横浜市環境創造局提供

## 4 たちばなの丘公園を歩く

### 公園の概要

**た** ちばなの丘公園は、横浜駅からわずか4kmの至近距離にあり、周囲は豊かな自然を残しています。

この一帯は、地形的にも丘陵と谷戸が入り組んでいて海拔90mを最高に、谷戸の沢は4筋の流れをつくっている一角にあります。公園の中央には湿地帯があり、周遊できる散策路も設置され、周囲にはイチョウやソメイヨシノの大きな木が取り囲むように並んでいます。

のんびり散歩する人々やグループがウォーキングで訪れ、子どもたちの遊ぶ姿も見られます。

**動** 植物の種類も多く、コナラ、クヌギ、エゴノキなどの樹林下を行けば、春夏秋冬さまざまな草花に出会い、こずえ梢を渡る鳥たちの姿、さえずりに心も体も癒やされます。



## 5 たちばなの丘公園の歴史と由来

**仏** 向町には、「カーリットの森」といわれる、昔からの自然と谷戸の里山風景が、近年まで開発の手が伸びずに、奇跡的に残されてきました。それは、大正8年以来、日本カーリット(株)の火薬工場が存在していたことで、高い万年塀で囲まれた立入禁止区域があり、人家が許されていなかったからです。

**戦** 後も平和産業用の火薬の製造が続けられましたが、平成7年に群馬県に工場移転が決まりました。その跡地の一部を近代産業の遺構の記念として残し、横浜市の「たちばなの丘公園」（この地域は昔、武蔵国橋樹郡であったところから）として整備され、保土ケ谷区側が開園されました。今後は、旭区の市沢町側を整備して、今の倍以上の広さの公園になります。お楽しみに！



日本カーリット工場時代の土塁の入口

※工場跡地のモニュメントとして4か所の土塁跡を残しています。周囲を4～5mぐらい土盛りをしており、その中の木造の工場建屋では、火薬の充填作業などが行われていました。

ほどがや語りべ集

緑とせせらぎと公園エリア

語りべ：村田 啓輔さん（スケッチ含む）

## 5 たちばなの丘公園の歴史と由来



次に公園の名前についてこのわしがお話いたそう。

わしは遙か古代の者で、名を田道間守(たじまもり)と申す。

じつはこの公園のある辺りは、明治の頃には「武蔵国橋樹郡(むさしこく・たちばなぐん)」

と呼ばれていたのじゃ。

天王町にある橋樹神社はその名残である。

この地名は、遠い古代から続いており「橋(たちばな)」という日本古来の“ミカンの元祖”に由来しているのだ。

橋は、このわしが第11代垂仁(すいにん)天皇のご命令で、遙かな旅のすえ持ち帰ったのじゃ。

このたちばなの丘に、たくさんの実をつけたミカンの木が立ち並んでいた光景を想像しながら散歩するのも楽しいではないか！



橋樹神社



橘の果実